

五十嵐工業 株式会社

DX宣言書

2024年7月3日
五十嵐工業 株式会社
代表取締役 五十嵐 敏彦

□ 経営理念

「おもしろいものなら、何でもチャレンジしよう！」
創りたいものがどんなに難しくても、チャレンジします
熟練のノウハウや技術に加えて新しいアイデアも積極的に取り入れ、時代に合った新しいビジネスを創造します

□ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

- ◆ 日々変化する社会情勢に対応するため、デジタル活用を通してお客さまの真のニーズに応え続けるビジネスモデルを追究します
- ◆ ものづくりの未来を見据え、デジタル技術を駆使する人材育成を行います

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2024年12月)

戦略 「社員全員が一丸となり業務効率化を推進」

- ◆ 社内での議論を活発化するため、従業員が積極的に学び成長する文化を育てます
- ◆ 従来の業務の棚卸を行い、全体計画を作成し、業務効率化を推進します

施策

- ・ 社長が先頭に立ってデジタル関連の情報収集を行い、従業員へ積極的に発信
- ・ 業務効率化に向け社内での意見交換を実施、具体的な改善策を検討
- ・ 社員全員でDX推進の全体計画を策定(環境変化等を踏まえ、必要に応じて修正)

➤ フェーズ2(2025年1月 ~ 2026年6月)

戦略 「デジタルマーケティングを推進し、お客さまに新たな顧客体験価値を提供」

- ◆ 複数のメディアを活用し豊富な情報発信を行い、お客さまとの円滑なコミュニケーションを築きます
- ◆ 最先端デジタル技術を駆使し、バーチャル空間上での新しい顧客体験価値を創出します
- ◆ 社内一丸となり積み重ねたDXノウハウを活用できる環境を整備します

施策

- ・ メディアによる情報発信を通して得られた反応を基に、お客さまのニーズを調査しターゲットを選定
- ・ チャットボットに蓄積されたデータを分析し、コンバージョンを設定、及び増加させる改善策を立案
※コンバージョン…Webサイト上で獲得するメルマガ登録や資料請求等の成果を指す
- ・ バーチャル空間を利用し、お客さまが理想とするカーポートの具体的な施工イメージを提供
- ・ 通信量増加等状況に応じたITインフラの充実(例:ネットワーク基盤の向上)

➤ フェーズ3(2026年7月 ~ 2027年8月)

戦略 「DX推進を通じた顧客の満足度向上と、自社の強みを活かせる組織づくり」

- ◆ フェーズ2でのデータ分析を応用し、市場内の自社の位置づけや差別化ポイントを検討、顧客の信頼と満足度の向上を目指します
- ◆ 顧客満足度向上に向け、積極的にアイデアを出すことが評価される仕組みを社内確立し、従業員のモチベーションアップに貢献します

施策

- ・ データ分析により市場全体の動向や競合他社の戦略を把握
- ・ 生成AIや動画を活用したマーケティングの実施
- ・ 積み重ねたDXノウハウを活用した、新しいカーポートのデザインや機能の開発等を立案し、お客さまへ提案
- ・ 各施策への積極的な取り組み姿勢を評価する制度の整備

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ 社員全員がDX推進に参加し、社内一丸となった取り組みを実行します

□ DX推進目標

- ・ 業務効率化に向けた全体計画策定完了 (~2024年12月)
- ・ バーチャル空間での商談を開始 (~2026年6月)
- ・ コンバージョン率 2024年度比10%向上 (~2027年8月)